

研究テーマ

移動式有料駐輪場(無人対応型)のデザイン

目的・概要

レンタサイクルの無人駐輪場を開発している大和タクシーとの共同プロジェクト。有料駐輪場の稼働率を上げるために移動式のモデルを開発した。初期段階ではコンテナの利用を考慮しており、コンテナの現地視察などを行ったが、試行錯誤の結果、コンテナ利用を取りやめてH鋼による構造体を採用した。設備システムメーカーや製造メーカーともコラボレーションを行い、最終提案に結びつけた。

期 間

2010年7月15日から2011年3月31日

委 託 者

大和タクシー株式会社

研究体制

プロジェクト型

担当教員

デザイン科 環境デザイン専攻 坂本英之 教授

参加学生

大学院	デザイン専攻	環境デザインコース 1年 北口貴是
		製品デザインコース 1年 大畠拓也

PROCESS

2010.07.15
2010.08.19・09.13・09.30
2010.10.23
2010.12.09・12.21
2011.01.18
2011.02.05・02.21
2011.03.05

第1回ミーティング
第2・3・4回ミーティング
第5回ミーティング(中間プレゼンテーション)
第6・7回ミーティング
第8回ミーティング(中間プレゼンテーション)
第9・10回ミーティング
第11回ミーティング(最終プレゼンテーション)



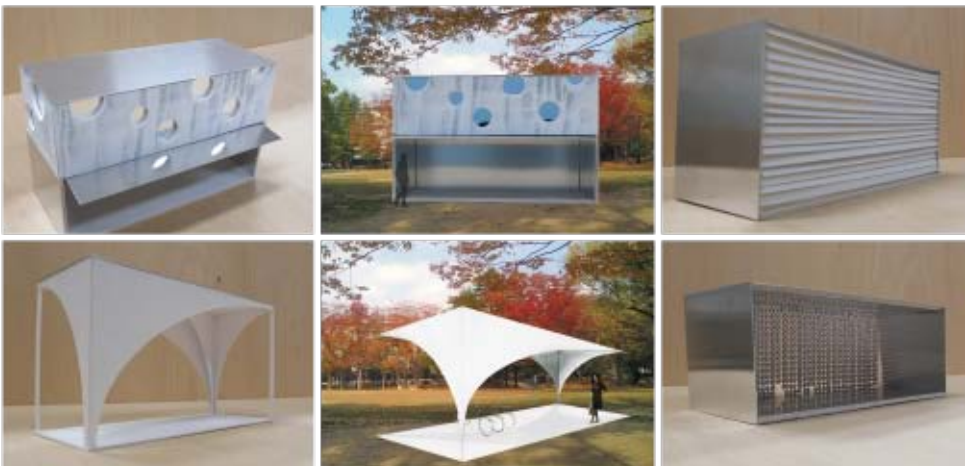
第1回ミーティング (概要説明・方向性確認)

コンテナの再利用を考えてデザインがスタートした。



第5回ミーティング (中間プレゼンテーション)

コストパフォーマンスにおいてメリットが少なく、かつ制約が多いことからコンテナ利用を断念。
新規のデザインで修正し、最終提案に結びつけた。



第8回ミーティング (中間プレゼンテーション)

子供や高齢者に対する安全性、設置時やメンテナンスに関する簡易性、情報発信の視点からの視認性などを追求してデザインした。
その結果、H鋼の構造体にテント地の皮膜で被うかたちとした。



第11回ミーティング (最終プレゼンテーション)

プロポーシオンや素材、色彩を通じて数多くのスタディ(試行錯誤)を重ね、最終案に到達した。
現在、実施設計に従って試作段階に入っている。